

令和5年度
学校関係者評価報告書

令和5年10月

諫早医師会立 長崎県央看護学校

学校関係者評価委員会

令和5年度 学校関係者評価委員会

1. 開催日時 令和5年10月12日(木) 14:00~15:45

2. 学校関係者評価委員

	所 属
委員長	元 長崎県立高等学校 校長
副委員長	公益社団法人 長崎県看護協会 会長
委 員	鎮西学院大学 名誉教授
委 員	独立行政法人地域医療機能推進機構 諫早総合病院 看護部長
委 員	長崎県中央看護学校同窓会 会長

3. 学校教職員

校長

副校長

統括教務課長

3年課程準備室主幹

事務局長

4. 令和4年度学校自己評価に対する領域別評価及び意見

教育理念・目標	・教育理念は言葉としてはその通りであるが、理念を学生、保護者、受験生、社会人へ具体的に示していくことが大切である。期待される看護師像や卒業生の活動などを多く示されると、もっといいのではないかと思われる。
学校運営	・前年度の意見をもとに、高校訪問を実施するなど努力されている。また今年度はオープンキャンパスの参加者も多く、受験者数の増加が期待されており、広報活動の効果がみられている。 ・意思決定システム等については、課程変更準備に伴い見直しが行われている。 ・適切に評価されている。
教育活動	・職員の能力開発については、昨年より評価が下がっている。教員は学生にとって模範、モデルとなる存在である。先生方のスキルアップのためにも、研修は必要であると思うので努力してほしい。
学修成果	・退学率の低減に関する評価が前年度と同じであるが、学力の問

	<p>題、メンタルの弱さなどもあり難しさを感じながら学生指導をされている現状があったと理解できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きながら学ぶ学生が多く、社会人経験者もいることで、学生同士が学び合う相互教育の成果があると感じている。今後も学校の特徴である相互教育、相互成長を支援していけるように続けてほしい。
学生支援	<ul style="list-style-type: none"> 就職支援で学生と病院とのマッチングについて、学生の特徴を理解している学校で進めてほしい。就職試験が早くなっていることでの難しさやハラスメントにならないような配慮が必要であるなど、学校の状況も理解できる。 卒業生への支援体制は、SNSを活用して連絡をとったり、就職先の看護部長や人事部と連携するなど、学校としてしっかり対応されている。
教育環境	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ対策について、努力工夫がされている。 校舎の老朽化については、改修計画を立て令和5年度から対応が始まっている。
学生の受け入れ募集	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度までは、二次募集を行うなど学生の確保は厳しかった。3年課程への移行に向けた今年度の活動では、受験者の増加が見込まれる状況である。
財務	<ul style="list-style-type: none"> 学校が過渡期で大変な時期であるが、収入が減少することも踏まえて収支計画を立て、運営がされている。
法令遵守	<ul style="list-style-type: none"> 行政からの特別な指導はなく、法令遵守はできている。 電子化が進んでいると思うが、システムダウンなども想定して、個人情報保護に努めてほしい。
社会貢献・地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> 近隣への体育館の貸出など外部への施設利用がされている。コロナ禍で一次中止されていた市民対象の研修会なども再開される予定である。また、病院や職能団体においては、イベントへの参加や運営に協力し貢献している。 講義に来ている大学講師と協力することで、学生の地域活動の幅が広がると期待している。

2. 総括

自己評価から学校としての取組をされていることわかり、評価できる内容であった。今後も学生のために、学校運営に努力してほしい。